

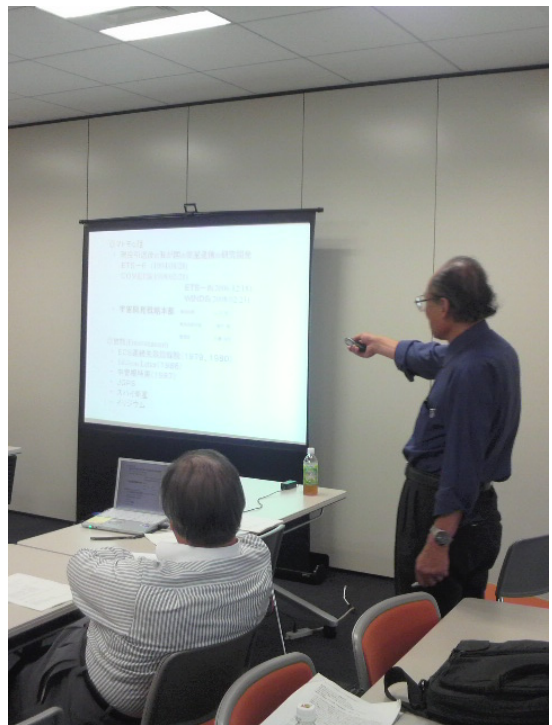
AIAA JFSC 2011年度 年次総会

AIAA JFSC事務局長
Space Japan Review 編集委員長
情報通信研究機構 若菜弘充

平成23年(2011年)10月13日首都大学東京秋葉原サテライトキャンパスにて、第13回AIAA JFSC(衛星通信フォーラム)年次総会を開催した。

総会に先立ち、特別招待講演として畚野信義氏(現在、奈良先端科学技術大学院大学理事)により「宇宙開発とともに」と題してご講演をいただいた。秋田県道川でのロケット実験実験に始まり、最近の通信衛星の話題まで、当事者として、また外部からの視点で、裏話を含めて幅広い話題を話された。内容の一部は本誌に執筆をお願いしたのでご期待いただきたい。

年次総会では、最初に会則第9条の年次総会6項の規定に従い、役員2/3以上の出席(役員メンバー9名のうち出席者8名、委任状提出者1名)を持って総会が成立することを確認した。



最初に、JFSC会長の福地一首都大学東京教授が挨拶され、2011年11月28日から12月1日奈良(ホテル日航奈良)にて開催されるAIAA ICSSC-2011の準備状況について話された。

次に第1号から第4号まで議案ごとに内容を報告する。

1. 第1号議案「2010年度活動報告」
 - Space Japan Review誌は2が月に1度の発行

を継続。今年度の特徴は、東日本大震災(2011年3月11日)後、通信関連の事業者、団体等の活動報告を行った。

- 2011年3月より同誌のウェブサーバを外部のサーバに切り替えた。以後平均で527アクセス/月。

- 新編集委員として大幡浩平氏(スカパーJSAT)、門脇隆氏(JMOS)が加わった。

- AIAA ICSSC-2011の開催準備を行った。その他、JC-SATやICSANE等電子情報通信学会研究会との連携(後援)も行った。



2. 第2号議案「2011年度活動計画」

- 英語翻訳にNICTの開発した多言語翻訳プラットフォーム「言語グリッド」システムを利用し、英文記事の増加を目指す。また新コーナーの創設、多様な執筆者の発掘、アクセス数増加に向けた宣伝活動に努める。
- AIAA ICSSC-2011の開催の成功に向けて、最大限の努力を行う。
- 今後のJFSCの組織形態として「一般社団法人」化に向けた調査・検討を行う。

3. 第3号議案「2010年度収支報告書及び2011年度予算計画、監査報告」

- 浜本直和財務委員長から2010年度収支報告、2011年度予算計画の説明が行われた。平成22年度AIAA衛星通信フォーラム監査報告書に基づき、垣内監査委員長から適正に管理されている旨の監査結果が報告された。

4. 第4号議案「2011年度役員及び運営委員の構成」

- 新旧役員の記事があり、承認された。構成表はSpace Japan Review誌に掲載されている通りである。

以上の第1号議案から第4号議案までが承認された。

おわりに

特別招待講演をお願いした畚野信義氏、東京大学及び早稲田大学名誉教授の安田靖彦氏を始めとして、スカパーJSATの永井裕副社長の他、日本の衛星通信の発展に寄与されてきた大学、企業、研究開発機関の方々が一同に会する総会であった。学会とは一味違った雰囲気様々で様々な意見が飛び交う大変興味深い会合で、毎回出席を楽しみにしている。技術の発展、社会の発展のために貢献されてきた方々を、特に衛星通信の観点から、Space Japan Reviewでその声を拾い上げてこようと思う。■